

(様式7)

公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(平成16年 8月30日)

事業コード	H16-建-継-12			区 分	国庫補助・県単独
事業名	地方道道路改築事業			部 局 名	建設交通部
事業種別	一次改築(バイパス)			課 室 班 名	道路建設課 地方道班 (tel) 2485
路線名等	(主) 鷹巣川井堂川線			担当課長名	佐藤 紀一
箇所名	鷹巣町中岱			担当者名	主幹(兼)班長 小田 修
総合計画との関連	政策コード	U	政策名	交流・連携と生活を支える交通基盤の整備	
	施策コード	4	施策名	地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備	
	目標コード	2	施策目標名	県道の整備促進	

1. 事業の概要

事業期間	H14~H21(8年)	総事業費	50億円	国庫補助率	1/2		
事業規模	延長L=900m 幅員(構成)W=13.0(3.5-1.5-6.5-1.5)						
事業の立案に至る背景	主要地方道鷹巣川井堂川線は、鷹巣町の国道7号を起点とし上小阿仁村の国道285号に至る幹線道路であり、県北地区の高速交通拠点である「あきた北空港」や空港近傍の「大野台工業団地」へのアクセス道路として、経済・産業活動を支援する重要な路線である。また、同空港近くに設置される日本海沿岸東北自動車道「あきた北空港IC(仮称)」へのアクセス道路でもある。しかし、当該区間は混雑度が高いうえ、車道幅員も4.0mと狭く、大型車のすれ違いや冬期交通の確保が困難な隘路となっているため、市街地の交通混雑解消と空港、高速ICへのアクセス向上を図るものである。						
事業目的	物流の効率化の支援(あきた北空港IC) 中心市街地の活性化(混雑度2.67) 都市圏の交通円滑化の推進(旅行速度18.5km/h) 地域づくりの支援(市町村合併支援) 道路の防災対策・危機管理の充実(第2次緊急輸送道路)						
事業費内訳	(単位:千円)						
事業内容		全体	H15年度迄	H16年度	H17年度	H18年度以降	
	事業費	4,970,000	1,111,000	740,000	500,000	2,619,000	
	経費内訳	工事費	3,900,000	355,000	525,000	472,000	2,548,000
		用補費	785,000	598,000	184,000	3,000	0
		その他	285,000	158,000	31,000	25,000	71,000
	財源内訳	国庫補助	2,485,000	555,500	370,000	250,000	1,309,500
		県債	994,000	222,000	148,000	100,000	524,000
その他一般財源		1,491,000	333,500	222,000	150,000	785,500	
事業内容		測量設計 改良工 橋梁下部工 用地補償	改良工 橋梁下部工 用地補償	改良工 橋梁下部工 用地補償	改良工 舗装工 橋梁上部工		
事業推進上の課題	特になし						
上位計画での位置付け	総合計画における施策「地域内交通ネットワーク・生活圏交通の整備」を支援する事業						
関連プロジェクト等	鷹巣阿仁地域市町村合併協議会(法定合併協議会H16.2.9設置) 日本海沿岸東北自動車道(あきた北空港IC)						
事業を取り巻く情勢の変化	鷹巣阿仁地域市町村合併協議会が設置され、「合併重点支援地域」にも指定されている。						
事業効果把握の手法及び効果	指標名	路線改良率		データ等の出典	道路現況調書 平成16年 7月		
	指標の種類	成果指標(業績指標)					
	指標式	改良率(改良済延長/路線実延長)					
	目標値a	99.1%					
	実績値b	95.5%					
達成率b/a	96.3%		把握の時期				

前回評価結果等	選定または継続	改善	保留または中止
	指摘事項		
	指摘事項への対応		

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評価点
必 要 性	当該区間は「道路構造上の欠陥箇所数」も2箇所あり、幅員も4mと狭隘で混雑度も高くなっている。 現道は、旅行速度も低く、また、通学路指定区域であり早急な改良が必要である。	11点
緊 急 性	本道路は日本海沿岸東北自動車道「あきた北空港IC（仮称）」へのアクセス道路であり、市町村合併の支援道路としての機能も有する。 道路交通量調査の動向では増加傾向にあり、併せて狭隘で歩道もなく冬期交通にも支障や危険を伴っている。	15点
有 効 性	緊急輸送道路の指定路線であり、災害や救急医療施設のアクセス道路としての活用も見込まれ、防災計画上の重要路線である。	30点
効 率 性	事業の費用便益比は2.6であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 45億円 ・総便益の現在価値 117億円 計画日交通量も7,500台以上となっている。 両側歩道の都市計画に対し、片側歩道の暫定計画によりコスト縮減を図っている。	20点
熟 度	平成14年度の事業着手であるが、用地買収が順調に進み買収面積が計画の約90%となっている。	13点
判 定	ランク（ ○ ） あきた北空港ICや救急医療施設へのアクセス道路であり、整備後の有効性は高いことから引き続き実施すべきである。	89点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

当該事業の施行にあたっては、整備計画を踏まえ、引き続きコスト縮減に留意し着実な推進を図る。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価及び対応方針を可とする。

別表7 (21)

公共事業箇所評価基準

評価種別 新規箇所 (継続箇所) 事業コード (H16-建-継-12) 箇所名 (中岱橋)

適用事業名 道路改築事業(地域内・生活圏交通促進)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題					
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員 < 5.5m ・最小半径 < 100m ・最急勾配 > 5% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	6	4m	
		2箇所	6			
		1箇所	4			
		0箇所以上	0			
			なし			
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度 1.0 ・現道の旅行速度 30km/h ・現道の事故率 50件 ・通学路指定で歩道なし ・重大交通事故が発生	5件該当	7	5	2.67 18.5km/h	なし
		4件該当	6			
		3件該当	5			
		2件該当	4			
		1件該当	2			
		該当項目なし	0			
計		15		11		
緊急性	道路をとりまく環境等					
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	4	4	日沿道あきた北空港ICアクセス	
		なし	0			
	市町村合併支援道路	位置づけあり	3	3		
		位置づけなし	0			
	交通量	増加している	3	3		
		増加していない	0			
	特有の課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、 冬期通行不能区間等	あり	5	5	老朽橋	
なし		0				
計		15		15		
有効性	道路の位置づけ					
	生活圏30分形成道路等	該当する	7	7		
		該当しない	0			
	救急医療施設へのアクセス道路	該当する	7	7	北秋中央病院	
		該当しない	0			
	地域防災計画画重要な道路	該当する	7	7		
		該当しない	0			
	社会変化による事業の必要性	必要性が高い	9	9		
		低下傾向	6			
		必要性が低い	3			
計		30		30		
効率性	事業の投資効果等					
	費用便益比(B/C)	1.0以上	5	5	2.6	
		0.5以上~1.0未満	3			
		0.5未満	0			
	計画交通量	1,000台/日以上	5	5	7,500台/日	
		500台/日以上~1,000台日/未満	4			
		300台/日以上~500台日/未満	3			
		300台/日未満	0			
	コスト縮減	あり	5	5		
		なし	0			
事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	etc 大規模バイパス etc 部分的ミニバイパス etc 現道拡幅		
	既投資額の部分的損失	4				
	既投資額の損失が少ない	3				
計		20		20		
塾度	事業の進捗進捗状況					
	事業の進捗(事業費)	8割以上完了	10	5		
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
	用地買収の進捗(面積)	8割以上完了	10	8		
		5割以上完了	8			
		1割以上完了	5			
		1割未満	2			
未着手		0				
計		20		13		
合計				100	89	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上	89	
	優先度が高い	60点以上~80点未満		
	優先度が低い	60点未満		